



平成24年度 山口県産業技術センター巡回技術報告会 in 周南

「もっと活用！産業技術センター」

日時 平成24年10月26日(金) 10:00~12:00

場所 キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター
(周南市大字徳山427番地)

会場名 カルチャーセンター

主催 地方独立行政法人山口県産業技術センター

◆ 産業技術センター活用方法 (10:05~10:15)

➤産業技術センターの事業概要や技術課題解決のための総合支援窓口についてご紹介します。

技術相談室室長 有村 一雄

◆ 産業技術センターの技術報告 (10:15~11:30)

➤自由降下式救命艇用の衝撃緩和座席の開発支援

船舶の沈没等緊急時の離脱装置である自由降下式救命艇は、20メートル以上の高さから海面に自由落下するため、搭乗者は大きな衝撃に曝されます。より安全な離脱を実現する衝撃緩和座席の開発支援について報告します。

設計制御グループ専門研究員 田村 智弘

➤複合プラスチックの化学分離によるリサイクル技術の開発

自動車部品等には、内装材やバンパーのような、異種材料が固着している複合材料も多く見受けられます。そこで、主成分の汎用樹脂を高付加価値材料として水平リサイクルするために、異種材料のみを化学的に完全分離する方法を開発した事例を紹介します。

材料技術グループリーダー 友永 文昭

➤スラグや廃石膏を主原料とした環境浄化型の土壌固化材の開発

建設現場等で発生する汚泥の中性固化材として、スラグや廃石膏の利用が考えられていますが、フッ素イオン等の溶出が問題となっています。そこで主原料中のフッ素等有害成分の不溶化技術の検討を行い、土壌固化材の開発を行った事例を紹介します。

環境技術グループリーダー 三國 彰

➤木酢液中ホルムアルデヒドの除去方法の開発

木酢液は主に有機酸、フェノール類などを含みますが、人体に有害なホルムアルデヒドも含まれています。本発表では、木酢液中ホルムアルデヒドの除去方法の開発について当センターで支援した内容について紹介します。

環境技術グループ専門研究員 小川 友樹

➤使いやすいモノづくりの支援事例

ユーザーにとって使いやすい製品設計や、使いやすさの評価技術に関する支援を行い、県内企業で製品化されたユニバーサルデザインスプレー等の事例を紹介します。

デザイングループ専門研究員 藤井 謙治

◆ マッチング会 (11:30~12:00)

➤パネルによる産業技術センターの技術紹介を行いながら、参加された方々と職員の交流を深めます。

◆ 会場位置図 ◆



◆ 会場 ◆ 【アクセス】

J Rの場合：徳山駅からタクシーで20分、櫛ヶ浜駅から徒歩で20分・タクシーで5分
 バスの場合：防長バス／緑ヶ丘じゅんかん 緑ヶ丘運動公園前バス停車
 車の場合：山陽自動車「徳山東I.C」から車で5分

※駐車場の台数に限りがございますので、なるべく乗り合わせ若しくは公共交通機関にてお越し下さい。

◆ お問い合わせ先 ◆



〒755-0195
 宇部市あすとぴあ四丁目1番1号
 企業支援部 産学公連携室 (担当 川村、十川)
 TEL (0836) 53-5052 (直通)
 FAX (0836) 53-5071
 E-mail : sangaku@iti-yamaguchi.or.jp

参加申込書(FAX送信票) FAX:0836-53-5071

※ 必要事項をご記入の上、そのままFAXで送信してください。

(地独) 山口県産業技術センター 産学公連携室 行き

会社、団体名：

参加者氏名	役職	連絡先(TEL、E-mail等)

- ◆会場準備の参考としますので、お手数ですが、**10月18日(木)**までに本参加申込書をご送信ください。
- ◆当日参加も受け付けておりますので、お気軽にご来場ください。
- ◆参加料は、無料です。

【個人情報の取り扱い】

ご記入いただきました個人情報は、個人情報保護法に基づいて管理し、本巡回技術報告会実施に関する連絡以外の目的で利用することはありません。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。